

縮小社会研究会 第 63 回研究会



日時：2022年6月24日、19:30-21:00
オンライン(zoom)

現代文明は石炭、石油、天然ガスの化石燃料で成り立っている。ガソリンや灯油などの燃料、プラスチック、化学繊維などの原材料などあらゆるものが化石燃料に依存している。しかし、化石燃料の枯渇、二酸化炭素の増加、プラスチックごみが現代文明の持続に黄信号を灯している。これを赤信号に変えない方法は化石燃料の使用の縮小であり、それは文明の姿を根本的に変える。ところで、化石燃料の最大用途は熱源すなわちエネルギー源であるが、一体、エネルギーとは何であるのかを知ることが、化石燃料を考える基礎となる。

エネルギーって何だろう

講師：小池康郎さん（法政大学名誉教授、サイエンスカフェ「京都えねるぎいっ亭」亭主）

講演要旨： 現代社会の根幹に真っ向から挑戦したプーチンの行動は世界を震撼させた。でも現代社会の根幹には問題はないのか？近い将来プーチンが舞台を去ればそれですむのか？

産業革命以来の化石燃料依存を重症化させた現代社会は持続できない。化石燃料を大量に持ったロシアのプーチンは、化石燃料を彼の忠実な部下とした。短期しか見ない独裁者の目から見れば当然だった。事実経済制裁では化石燃料禁輸が障害となっている。「脱炭素」は難しい。

脱炭素とは化石燃料を使わないことである。化石燃料を使わない為にはどうしたら良いのか？それはエネルギーの基本を正しく知ることからしか始まらない。

エネルギーの基本は小学生でも理解できます。現代社会の常識にがんじがらめになった大人が、それを認識したくないだけです。エネルギーの基本を基に皆様と共に未来社会を考えたいと思います。それは未来への復興です。琵琶湖疏水に先例を見ることができます。

小池康郎さんの略歴： 福岡市で育つ。京大理学部卒。京大大学院工学研究科原子核工学専攻博士課程修了。30代は世界各地で原子核理論研究に従事。1987年法政大学第一教養部着任。自然科学理解を文系学生ひいては一般の人に普及することに集力。法政大名誉教授。近刊「エネルギーって何だろう？」

参加費：会員は無料、非会員は1000円

参加登録：非会員の方は、peatixから申し込みください

(<https://peatix.com/event/3259670/view>)。

Zoom ミーティングの URL:

<https://us02web.zoom.us/j/84642276427?pwd=UnJLb2dNWU80VGxKVnk1M1BhTXN5dz09>

パスコード：217241、 ミーティング ID: 846 4227 6427